

平成33年度までの財政収支見込み ～財政の健全化に向けて～

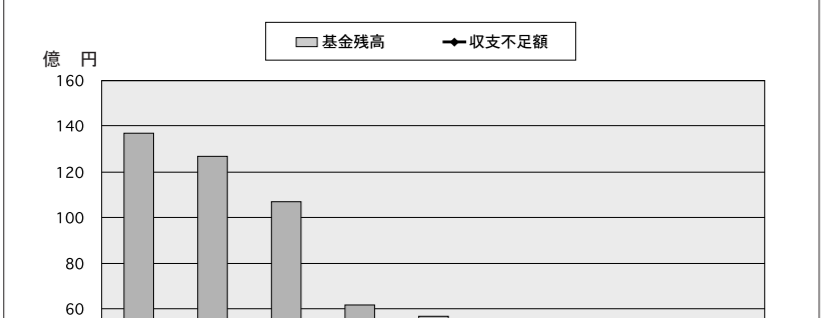
本市では、特に震災以後、市民の皆さんからの税金や国からの交付税・補助金などだけでは、必要な支出が賄えない状態(収支不足)となっており、毎年、市の貯金である基金を取り崩すという厳しい財政状況が続いています。

平成24年度予算(案)は、収支不足の埋め合わせのため、約21億円の基金を取り崩すこととしています。基金には当然限りがあるので、できるだけ早くこのような状況を改善し、基金に頼らない健全な財政運営を行っていただくことが必要です。

このため、本市では新年度予算(案)をお知らせするこの時期に合わせ、向こう10年間の各年度の収入および支出の見込みを立て、安定した財政運営と計画的な諸課題の解決に取り組んでいけるよう、「長期財政収支見込み」を作成・公表しています。

今回、平成33年度までの長期財政収支見込みを作成しましたので、その概要をお知らせします。(詳細は、市ホームページをご覧ください)

本市は今後も収支不足と基金の減少が続く見込みです



なぜ収支不足が続くのか？
収支が不足する理由としては...
震災の復興事業等による借金の返済費(公債費)が依然として大きいこと
福祉や医療等に要する経費をはじめとした経常的な経費が、さらに増え
いくと見込んでいること
市税収入の大幅な回復は見込めないことなどによるものです。

これからの財政運営
今回の長期財政収支見込みでは、基金が底を突く見込みとまではなっていないものの、決して安心できる水準とは言えません。
このような状況の中で収支不足を改善し、安定した財政運営を行っていくために、次のような取り組みを実施していきます。

- ①一層の収入(財源)の確保に取り組んでいくこと。
- ②現在行っている事務や事業は常に見直しを行い、より簡素で効率的な行政運営が行えるように、さらなる行政改革を進めていくこと。
- ③新しい事業を行なう場合は、将来も含め経費の財源が確保できるかどうか見極め、どの事業から順番に取り組んでいくべきか慎重に検討していくこと。

平成24年度 予算(案)

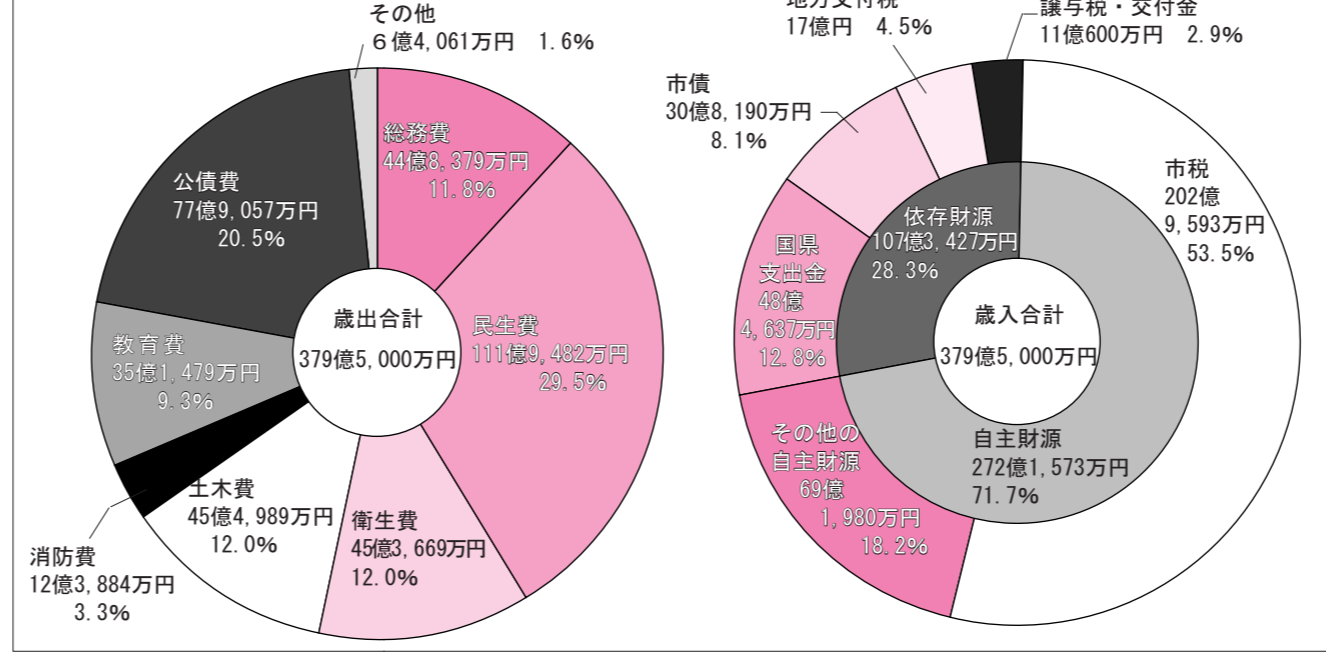
区分	予算額	増減率(%)
一般会計	379億5,000万円	2.3
特別会計	222億 390万円	0.1
国民健康保険事業	96億4,600万円	3.0
下水道事業	31億6,200万円	3.2
公共用地取得費	1億4,200万円	1.4
都市再開発事業	1,370万円	31.2
駐車場事業	3億4,420万円	0.6
介護保険事業	69億4,000万円	1.6
宅地造成事業	3億3,100万円	52.6
後期高齢者医療事業	16億2,500万円	6.3
企業会計	108億4,286万円	6.6
病院事業	74億6,146万円	9.5
上水道事業	33億8,140万円	0.4
財産区会計	1,010万円	1.0
合計	710億 686万円	0.2

平成24年度の主な新規事業など

【福祉・医療】	単位:万円
私立保育所の誘致	11,805
肝炎ウイルス検診個別勧奨事業	798
【教育】	
学校園遊具設置事業	4,569
学校園施設整備事業	3,380
校務支援システム導入事業	1,470
【都市】	
(仮称)公光町事務所整備事業	40,000
竹園地区集会所の建て替え事業	9,700
市役所北広場のバリアフリー化事業	7,000
市営住宅の建て替え事業	6,194
【その他】	
住民情報システム更新経費	30,000



歳出 歳入



【総務費】市役所全体の事務費や税金の徴収戸籍および住民票・選挙等に要する経費で、市庁舎の整備やシステム更新経費の増加のため、約一億七千四百五十三万円(6.5%)の増加となります。

【民生費】福祉等に要する経費です。子どもための手当への制度見直しに伴う減少のため、約一億二千四百七十九万円(2.0%)の減少となります。

【衛生費】保健やごみ処理などに要する経費です。市立芦屋病院への助成等の増加のため、約八億九千三百四十三万円(24.5%)の増加となります。

【土木費】道路や都市計画公営住宅などに要する経費です。南芦屋浜都市公園整備事業等の減少のため、約三億五百四十五万円(6.3%)の減少となります。

【教育費】消防救急や災害対策に要する経費です。防災行政無線の増設や津波避難誘導標識設置による増加のため、約三千四百五十八万円(2.9%)の増加となります。

【公債費】市債借入れ金の元金や、利子の支払いに要する経費です。満期を迎える市債が増加することにより、約一億六千三百六十六万円(3.5%)の増加となります。

【教育費】学校や幼稚園その他社会教育に要する経費です。退職手当の減少のため、約二千三百三十一万円(0.4%)の減少となります。

【その他】前記以外の経費で、議会費や商工費などが含まれます。約五千九百三十六万円(8.5%)の減少となります。

市民1人当たりに使われるお金は400,726円

総務費	民生費	衛生費
47,346円(11.8%)	118,210円(29.5%)	47,904円(12.0%)
土木費	消防費	教育費
48,044円(12.0%)	13,081円(3.3%)	37,114円(9.3%)
公債費	その他	合計
82,263円(20.5%)	6,764円(1.6%)	400,726円

※1月1日現在の住民基本台帳人口94,703人で試算しました

【二月二十一日開会三月二十六日閉会の市議会には、平成二十四年度予算のほか、平成二十三年年度一般会計補正予算(第五号案)も提案しており、年度末にあたっての所要の経費の増減を行っています。

前記以外の収入で、寄附金や手数料収入などです。基金の取り崩し額が増加したため、約八億六千八百九十三万円(14.4%)の増加となります。

【市債】借入れ金です。借り換えや庁舎周辺整備事業等による借入れの増加のため、約一億五千九百九十九万円(69.1%)の増加となります。

【その他の自主財源】前記以外の収入で、寄附金や手数料収入などです。基金の取り崩し額が増加したため、約八億六千八百九十三万円(14.4%)の増加となります。

◆平成24年度 予算(案) 概要◆

市の予算は、一般会計・特別会計・企業会計・財産区会計の4種類の会計で構成されており、平成24年度の予算総額は710億686万円となります。今回はその中でも、ごみ処理、住宅や道路・公園の整備、教育、福祉といった市民の皆さんの日常生活に関わる一般会計の予算(案)についてご説明します。

【市税】市の歳入で最も多く、全体の53.5%を占めています。前年度との比較では個人市民税が景気低迷による所得の減少により、また固定資産税および都市計画税が評価替えに伴う家屋の評価減により、それぞれ減少することから、全体では約四億六千二百九十二万円(2.2%)の減少となります。

【譲与税・交付金】自動車重量税や地方消費税交付金などです。児童手当および子ども手当特例交付金などが減少するため、三千三百四十二万円(2.9%)の減少となっています。

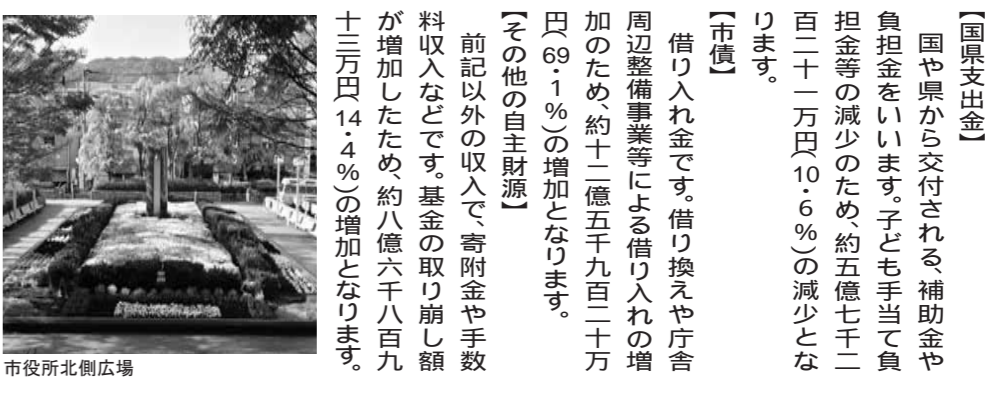
【地方交付税】普通交付税と特別交付税があり、二億四千万円(5%)の減少となります。

【国・県支出金】国や県から交付される補助金や負担金をいいます。子ども手当や負担金の減少のため、約五億七千二百一十一万円(10.6%)の減少となります。

【市債】借入れ金です。借り換えや庁舎周辺整備事業等による借入れの増加のため、約一億五千九百九十九万円(69.1%)の増加となります。

【その他の自主財源】前記以外の収入で、寄附金や手数料収入などです。基金の取り崩し額が増加したため、約八億六千八百九十三万円(14.4%)の増加となります。

「健康」・「福祉」および「教育」に重点を置いた予算編成



予算を家計にたとえると...

歳入		歳出	
一般会計予算額(千円)	市税	一般会計予算額(千円)	人件費
20,295,933	20,295,933	7,947,230	7,947,230
6,919,793	6,919,793	5,513,284	5,513,284
7,652,374	7,652,374	7,790,571	7,790,571
3,081,900	3,081,900	6,275,002	6,275,002
37,950,000	37,950,000	3,161,654	3,161,654
		3,561,355	3,561,355
		3,317,042	3,317,042
		343,862	343,862
		40,000	40,000
		37,950,000	37,950,000

GATV 広報番組ガイド

3月後半

番組名	放送時間
オープニング	8:30
トピックス	12:00
特集	16:00
お知らせ	18:15
エンディング	22:45

第62回 市民寄席 桂米團治 独演会

■日 時 4月13日(金) 午後6時30分開演 6時開場

■会場 ルナ・ホール<全席指定>

■出演・演目 桂米團治・「鷲とり」「崇徳院」「質屋芝居」
桂しん吉・「金明竹」
桂二乗・「痛の合衆」

■料金 前売2,500円・当日3,000円

■前売発売所 市民センター事務所・市役所売店(南館B1)・ローソンチケット(Lコード57511)

問い合わせ 市民センター ☎31-4995

春の公民館講座・開講記念講演会

日 時 4月6日(金) 午前10時~11時30分

■会場 市民センター 401室

■講師 追手門学院大学客員教授・寺谷一紀氏

■テーマ ナニワのアナウンサーの「東西おもしる文化比較」

■申し込み 事業名・住所・氏名・電話番号を記入し、3月28日(水)までに、はがきまたはファクスで下記へ

寺谷 一紀氏

問い合わせ 公民館 ☎35-0700/☎31-4998 (〒659-0068 東平町8-24)

歳入		歳出	
一般会計予算額(千円)	市税	一般会計予算額(千円)	人件費
20,295,933	20,295,933	7,947,230	7,947,230
6,919,793	6,919,793	5,513,284	5,513,284
7,652,374	7,652,374	7,790,571	7,790,571
3,081,900	3,081,900	6,275,002	6,275,002
37,950,000	37,950,000	3,161,654	3,161,654
		3,561,355	3,561,355
		3,317,042	3,317,042
		343,862	343,862
		40,000	40,000
		37,950,000	37,950,000